

電気学会 第 11 回「でんきの礎（いしずえ）」の顕彰受賞について

2018 年 3 月 15 日に開催されました電気学会全国大会において、「旧端出場水力発電所と海底送電※」が第 11 回「でんきの礎（いしずえ）」顕彰を受賞しました。

また、2018 年 4 月 3 日に新居浜市へ「でんきの礎（いしずえ）」顕彰を受賞した旨の報告を行うとともに、クリスタルトロフィーの贈呈を行いました。

<贈呈式：写真左が寺田新居浜副市長、右が当社山本社長>



※・旧端出場水力発電所：別子銅山の近代化により急拡大した電力需要に対応するために建設された水力発電所です。

明治 45 年の完成当時は世界トップクラスの高落差と大規模出力を誇りました。

(平成 22 年に新居浜市へ寄贈し、現在は新居浜市の所有となっています。)

・海底送電：新居浜地区から四阪島への電力供給を行うために、大正 11 年に約 20 km (当時世界最長) の海底ケーブルを敷設し、海底ケーブルによる長距離送電の先駆けとなりました。